

# 相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院  
相談支援センター 発行  
第15号平成23年4月27日



## 年度初めの挨拶

相談支援センター 看護師長 佐藤 佐智子

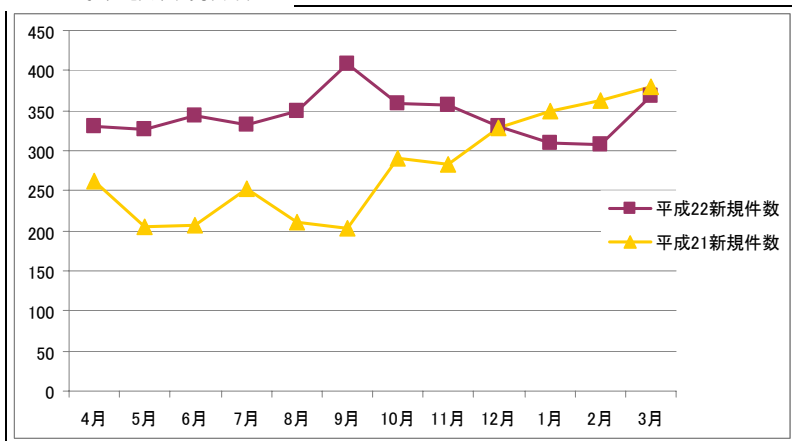
この度、相談支援センター看護師長の命を受けました、佐藤 佐智子と申します。

これまで二病棟8階におり、相談支援センターには患者さんの退院支援などでお世話になってきました。今回前任の今野笑子師長より引き継ぎを受け、相談支援センターの活動には「医療相談支援」「医療機関との連携調整」「がんに関する情報収集・提供」等があり、病院の中だけでなく全県の医療・福祉関連の皆さまとの協同の仕事であることに奮い立つ思いです。さらに今年は、“5大がん地域連携パス”が運用され、地域連携の有効なツールとして活用されることを期待しています。

これから、現スタッフの力を借りて経験をつみながら、皆様の役に立てるよう努力してまいります。なにとぞよろしくお願いいたします。

## 【活動状況】～月別相談件数推移と相談内容について～

医療相談新規件数

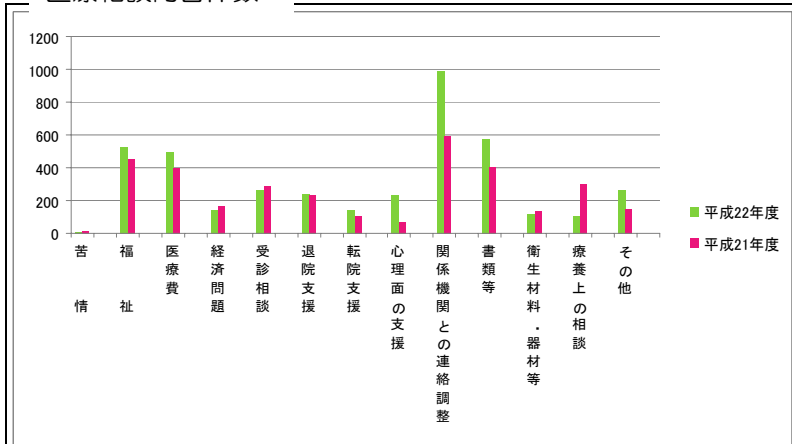


平成22年度の医療相談新規件数は4124件、支援回数は9354回でした。平均すると一件の相談に2.27回の支援を行っていることとなりますが、退院支援には7.4回、転院支援には6.64回関わっていることが分かりました。

相談件数は年々増加しており（前年比+25%）、院内外の連絡調整・退院転院支援・福祉制度・医療費や書類についての情報提供が多くを占めています。退院支援スクリーニングシートでの依頼が定着し、各診療科・病棟でのカンファレンスにも出向いていくことで、早期からの支援開始が多くなってきています。

今後も患者さんが安心して治療が受けられ、退院後の生活に前向きに臨めるよう支援していきたいと思っています。

医療相談内容件数



# 「皆さんのご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます

ケース1：8日間検査入院をしました。主治医の先生やその他の先生は、何事にもわかりやすく書面にして届けてくださったり、話をして下さったりして本当にありがたかったです。それに看護師さんたちの何と親切なこと、心配している患者への話し方、働き、明るさにまさに頭が下がる思いでした。紙面が少ないので十分書けませんありがとうございました。お世話になりました。

回 答：この度は、このようなお言葉を頂きありがとうございました。スタッフ一同大変嬉しく思っております。このお言葉を励みとし、これからも患者さんに出来るだけ親切に、そして明るく対応していきたいと思えます。

ケース2：エレンタール用のドリンクミックス（フレーバー）で、マンゴー味が新しくできたようなのですが、当病院では取り扱っていないようです。入院している患者は入手できないので、マンゴー味も至急取り扱ってください。新しくできたといっても、去年なのでもう取り扱ってくれてもいいのでは…

回 答：患者様からご指摘を頂きありがとうございます。また、当院での対応が遅れてしまい申し訳ありませんでした。確かに、エレンタール配合内用散（80g/1包）のドリンクミックスにマンゴー味がございます。本日、早速提供されている味の素株式会社より取り寄せるよう手配をしました。これは医薬品ではなく、エレンタール配合内用散に混合して、味付け用として用います。主治医の先生に依頼をしていただければ、無償で薬剤部よりお渡しすることができます。よろしく申し上げます。改めて患者様には不便をおかけしましたこと申し訳ありませんでした。

“わからないこと” “相談したいこと” は相談支援センターをご利用ください。

例えば

- 1 医療費の支払いや経済的な不安について
- 2 介護保険などの福祉サービスについて
- 3 障害年金などの社会保障制度について
- 4 退院・転院についての不安や悩み
- 5 セカンドオピニオンについて
- 6 がんの治療や療養生活の不安について



※お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。

## 相談支援センター担当者紹介

4月から新メンバーを迎え活動しております。

相談支援センター長	廣川 誠（病院教授）		
副センター長	後藤 隆（准教授）	副センター長	佐藤 佐智子（看護師長）
GRM	佐藤 幸美（看護師長）	副看護部長	大塚 悦子
看護師	古井 明美		
MSW	小川 江美	MSW	金子 幸太
MSW	板垣 愛	医療サービス室長	森田 康幸
医療サービス室	中村 勝	医療サービス室	佐々木 恭子
医療サービス室	藤田 大和	相談支援センター	内田 隆子